

【提出様式・CS校】 令和7年度 豊島区立学校 学校評価 自己評価表

豊島区立 朋有小 学校

評価対象者数 (人)			
児童・生徒数	保護者数	教職員数	地域の方
376	143	28	8

領域	豊島区教育 ビジョン 2025 基本方針等	評価 番号	評価項目	年間評価																学校関係者による評価		次年度に 向けた 改善策				
				児童・生徒				保護者				地域				教職員				自己評価 概要	学校関係者 評価の意見		標 語			
				4	3	2	1	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0	4	3					2	1	
II	就学前から小学校・中学校への円滑な接続	II-1	学校は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしている。						45	65	20	3	10	6	2	0	0	0	8	18	2	0	今年度は年3回の小中連携、パロード見守り隊、西中を知る会、1年生と6年生が近隣保育園との交流会を行った。	今年度行った取組以外にも、積極的に関係諸機関等と交流する機会を設定した方がよい。	A	今年度から行った6年生と近隣保育園との交流は来年度も継続していく。来年度は展覧会があるので、交流する時間を計画する。
I	学びに向かう力の育成	I-1	学校は、子どもの学力の定着・向上のために、分かりやすい授業を行っている。	児童・生徒を対象としたアンケート集計表をご参照ください。	52	72	12	1	6	3	2	0	0	3	14	13	1	0	肯定的評価：約85%。OJT研修などを通して、授業力向上に取り組んでいる。ICTの活用については、教員間で個人差はあるものの校内全体で積極的に授業の中で取り入れていくようにしている。	土曜授業や学校参観週間を見ても、先生方は工夫して授業をしてくれているように感じる。児童の学力向上を第一に考え、授業改善に取り組んでほしい。	A	OJT研修の内容を精選し、学校全体で授業力向上の取組を継続していく。ICTの活用の仕方についてはICT主任を中心に全職員で学ぶ機会を設ける。また、積極的に活用している教職員から事例を紹介してもらい、日々の指導に生かしていく。				
		I-2	学校は、ICT機器やタブレット端末等の活用により、分かりやすい授業の実施や子どもの学びの意欲の向上に取り組んでいる。		60	61	13	2	7	4	2	0	0	2	11	15	2	0	肯定的評価：約90%以上。道徳推進教員を中心に、校内全体で道徳の授業力向上に努めてきた。9月には、「集団や社会、人との関わりをもって」をテーマとして道徳授業地区公開講座を行った。	豊かな心は、今後、児童が社会で生きていくうえでも非常に大切なものになる。来年度も、学校で一体となった取組を考えていってほしい。	A	週に1回の道徳の授業を大切にしていこう。道徳授業推進教員を中心に、道徳の授業の展開の仕方について学ぶ機会を設定する。ホームページ等を通して授業の様子を伝え、家庭と連携して児童の心の育成に努めていく。				
	豊かな心と人間関係の育成	I-3	学校は、道徳科の時間を含めた全教育活動をとおり、互いの良さを尊重し合う温かい学校づくりを推進している。		73	60	5	0	5	6	1	0	0	1	15	10	3	0	肯定的評価：85%以上。今年度は、近隣の総合体育場も活用して体育の授業を行った。2日間行った給食試食会を通して、保護者への食育指導で理解を深めることができた。	運動会の内容については今後も検討してほしい。校庭は狭くなってしまったが、だからこそできることもあるかと思う。	A	月に1回、体育朝会を行い、体を動かす時間を確保する。積極的に声をかけ、外遊びを推奨していく。さわやかな朝チャレンジを通して規則正しい生活の指導を行う。毎日の献立だよりに掲載している情報を必ず児童に伝え、食育指導を充実させていく。				
		I-4	学校は、生命を大切にできる態度や思いやり、優しい心を育てている。		71	59	7	0	6	5	2	0	0	1	16	7	5	0	毎月1回の校内委員会・いじめ対策委員会では様々な事項については校内で共通理解を図っている。また、週1回の生活指導夕会だけでなく、週2回の夕会では学年ごとに気になる児童について情報共有を行っている。	全校体制で細かく児童の様子を共有していることは続けてもらいたい。このような取組をしているという事はHPやおたより等でもっと伝えてもよいのではないかな。	A	週2回の夕会での各学年の報告を来年度以降も継続していく。また毎週行っている学年会でも気になる児童については情報共有し、複数で対応していく体制を整えていく。特別支援教育や発達障害等については、OJT研修等で深く学ぶ時間を設定していく。				
	健やかな生活を送るための体力づくり	I-5	学校は、子どもの体力向上や健康の促進に、積極的に取り組んでいる。		57	68	12	3	3	4	1	0	0	3	14	12	2	0	V-Iについては90%以上の肯定評価となっているが、実際には様々なトラブル等の対応に日々教職員があたっている。	土曜授業等で参観していると落ち着いているように見える。今後も、熱意をもって指導にあたってほしい。	A	年度当初に朋有小学校のきまりを各学級や学年で指導の徹底を図り、きまりを守る大切さを指導していく。保護者の方々、地域の皆様からいただいた今年度の学校評価の意見を来年度の教育活動に生かしていく。				
		I-6	学校は、充実した食育指導を通して、健康教育に取り組んでいる。		77	52	7	1	6	4	0	0	0	4	12	15	1	0	今年度は、ホームページの更新に一層力を入れた。各学年の行事や取組について紹介することで、保護者や地域の方々に学校の様子を伝えることができた。今年度は6年生が地域とのつながりをテーマとして、区民ひろば朋有での高齢者の方々との交流、外国の方々との交流を行った。	ホームページは、今年度充実していた。来年度も継続してほしい。今後も、学校参観だけでなく地域とのつながりをもてる時間を設定していきいってほしい。新しい取組にどんどん挑戦してほしい。	A	各学年や専科、学校行事についての情報をホームページで公開し、日々の教育活動を「見える化」していく。地域に出かける活動や地域のことを学ぶ学習、地域の方に本校にお越しいただいて交流する活動等を充実させていく。児童の地域に対する愛情を育む教育活動をしていく。年間の学校運営協議会の時間を大切に、地域の方々からいただいた考えを学校運営に生かしていく。				
III	多様な子どもに対する支援の充実	III-1	学校は、いじめ防止等(未然防止、早期発見、早期対応)に学校全体で組織的に対応している。	54	43	12	1	33	4	4	0	0	0	22	6	0	0	V-1については90%以上の肯定評価となっているが、実際には様々なトラブル等の対応に日々教職員があたっている。	土曜授業等で参観していると落ち着いているように見える。今後も、熱意をもって指導にあたってほしい。	A	年度当初に朋有小学校のきまりを各学級や学年で指導の徹底を図り、きまりを守る大切さを指導していく。保護者の方々、地域の皆様からいただいた今年度の学校評価の意見を来年度の教育活動に生かしていく。					
III-2	学校は、子ども達の気持ちを理解するために、一人一人に寄り添いながら、指導を行っている。	58	60	13	0	12	3	4	1	0	0	18	10	0	0	今年度は、ホームページの更新に一層力を入れた。各学年の行事や取組について紹介することで、保護者や地域の方々に学校の様子を伝えることができた。今年度は6年生が地域とのつながりをテーマとして、区民ひろば朋有での高齢者の方々との交流、外国の方々との交流を行った。	ホームページは、今年度充実していた。来年度も継続してほしい。今後も、学校参観だけでなく地域とのつながりをもてる時間を設定していきいってほしい。新しい取組にどんどん挑戦してほしい。	A	各学年や専科、学校行事についての情報をホームページで公開し、日々の教育活動を「見える化」していく。地域に出かける活動や地域のことを学ぶ学習、地域の方に本校にお越しいただいて交流する活動等を充実させていく。児童の地域に対する愛情を育む教育活動をしていく。年間の学校運営協議会の時間を大切に、地域の方々からいただいた考えを学校運営に生かしていく。							
III-3	学校は、特別支援教育や発達障害等に関して、一人一人に適切な指導を行っている。	50	53	8	0	32	6	2	0	0	0	21	3	4	0	肯定的評価：約90%。今年度は、全学年に出前授業を実施した。3年生以上は2回以上実施することができた。	出前授業は、児童にとっても貴重な経験となる。回数には減らしながらも、機会は大切にしていきたい。	A	今年度の内容を踏まえて、各学年の出前授業を精選して行っていく。今後も教室で学ぶだけでは得ることができない体験的な学習の取組を重視していく。							
V	教師力の向上と魅力ある学校づくり	V-1	学校は秩序があり、子ども達は落ち着いて学校生活を送っている。	65	69	6	1	2	3	4	0	0	1	6	7	14	1	校務分掌については複数人配置し、業務が分散されるように努めている。月に1度は、会議がない水曜日を設定している。	先生が健康で元気であることが何よりも大切なことである。やりたいことができる時間を確保してほしい。	A	委員会やクラブがない月曜日を5時間授業とし、放課後には会議を設定する。夕会のない水曜日になるべく会議を設定しないようにし、学年や学級、分掌の業務を行う時間を確保する。					
		V-2	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かしている。	58	58	8	0	19	3	4	0	0	1	18	10	0	0	肯定的評価：約90%。今年度は、全学年に出前授業を実施した。3年生以上は2回以上実施することができた。	出前授業は、児童にとっても貴重な経験となる。回数には減らしながらも、機会は大切にしていきたい。	A	今年度の内容を踏まえて、各学年の出前授業を精選して行っていく。今後も教室で学ぶだけでは得ることができない体験的な学習の取組を重視していく。					
	家庭・地域との連携	V-3	学校は、学校や子ども達の様子を、学校だよりやホームページ、学校公開等によって、分かりやすく伝えている。	77	56	9	1	0	5	1	1	0	1	17	9	2	0	校務分掌については複数人配置し、業務が分散されるように努めている。月に1度は、会議がない水曜日を設定している。	先生が健康で元気であることが何よりも大切なことである。やりたいことができる時間を確保してほしい。	A	委員会やクラブがない月曜日を5時間授業とし、放課後には会議を設定する。夕会のない水曜日になるべく会議を設定しないようにし、学年や学級、分掌の業務を行う時間を確保する。					
V-4		学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育している。	69	61	8	1	4	4	4	0	0	0	19	7	2	0	校務分掌については複数人配置し、業務が分散されるように努めている。月に1度は、会議がない水曜日を設定している。	先生が健康で元気であることが何よりも大切なことである。やりたいことができる時間を確保してほしい。	A	委員会やクラブがない月曜日を5時間授業とし、放課後には会議を設定する。夕会のない水曜日になるべく会議を設定しないようにし、学年や学級、分掌の業務を行う時間を確保する。						
V-5	学校はコミュニティ・スクールを推進し、保護者・地域住民等が学校運営に参画し、学校と一体となって子どもたちを育む体制を構築している。	53	53	14	0	23	6	2	0	0	0	13	12	3	0	校務分掌については複数人配置し、業務が分散されるように努めている。月に1度は、会議がない水曜日を設定している。	先生が健康で元気であることが何よりも大切なことである。やりたいことができる時間を確保してほしい。	A	委員会やクラブがない月曜日を5時間授業とし、放課後には会議を設定する。夕会のない水曜日になるべく会議を設定しないようにし、学年や学級、分掌の業務を行う時間を確保する。							
	特色ある教育活動	V-6	学校は、出前授業などを通じた体験的な学習への取り組みに関する教育を推進している。	85	43	7	0	8	6	1	0	0	1	19	9	0	0	校務分掌については複数人配置し、業務が分散されるように努めている。月に1度は、会議がない水曜日を設定している。	先生が健康で元気であることが何よりも大切なことである。やりたいことができる時間を確保してほしい。	A	委員会やクラブがない月曜日を5時間授業とし、放課後には会議を設定する。夕会のない水曜日になるべく会議を設定しないようにし、学年や学級、分掌の業務を行う時間を確保する。					
IV	働き方改革	IV-1	学校は、校務支援システムの活用や「チーム学校」を意識した業務分担等により、組織的に業務の効率化・最適化を目指して取り組んでいる。											18	10	0	0	校務分掌については複数人配置し、業務が分散されるように努めている。月に1度は、会議がない水曜日を設定している。	先生が健康で元気であることが何よりも大切なことである。やりたいことができる時間を確保してほしい。	A	委員会やクラブがない月曜日を5時間授業とし、放課後には会議を設定する。夕会のない水曜日になるべく会議を設定しないようにし、学年や学級、分掌の業務を行う時間を確保する。					

※学校関係者による評価の評語は、自己評価結果について以下の視点で行う。 A 評価は妥当である B 評価はおおむね妥当である C 評価は妥当ではない D 評価方法を見直す必要がある